



Check Point UTM でできる！

テレワークのセキュリティ対策

新型コロナウイルス (COVID-19) の影響で、テレワークの導入が急加速しています。しかしながら、突然の事態に戸惑っている中小企業の経営者様は多いのではないのでしょうか。

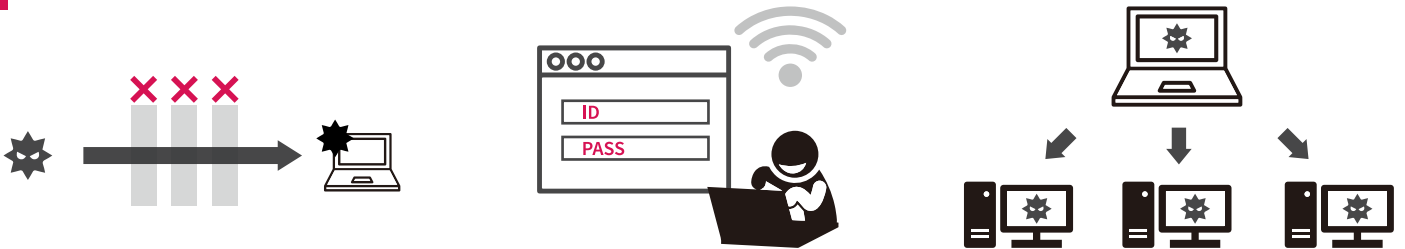
UTMを活用した中小企業様に最適なソリューションをご紹介します。



テレワークの導入における様々な課題

テレワークは **日常業務における利便性の向上** のみならず、今回のような **緊急事態** において業務を継続するための **有効な手立て** となります。しかしその反面、**セキュリティ** や **運用の手間**、**コスト** といった課題も存在します。

セキュリティ面の課題



社外ネットワークの脅威にさらされる

社外で業務を行うことで、社内環境のように管理者による一元的なセキュリティ管理を行うことができなくなります。そのため、社外ネットワークに潜む様々な脅威と直接触れる危険性があります。

公衆Wi-Fiの危険性

公衆Wi-Fi は不特定多数が利用するため、同じWi-Fi に接続している悪意あるユーザーによって通信を傍受される危険があります。

社内に脅威を拡散

テレワークでマルウェアに感染した端末が社内LANに接続すると、同じLAN内へ脅威を拡散させるリスクもあります。

運用面の課題

リモートVPNの利用には、アカウントの作成、変更、削除など日々の運用は欠かせません。専任の担当者が不在の中小企業においては、これらの運用の手間は導入において大きな障害となります。こういった課題の考慮なしに導入した場合、運用が行き届かなくなってしまうケースも多く、不要なアカウントの削除などの管理ができないことで新たなセキュリティリスクに繋がる場合もあります。

コスト面の課題

リモートVPNの利用のためには専用のアプライアンスやサービスの新規導入や既存機器に対する追加ライセンスの購入などのコストが必要となる場合があります。多くの中小企業では予算はある程度限られているため、選択の幅は狭められてしまう結果、安易に機器やサービスを選定してしまう場合もあります。

解決方法は？ ▶

Check Point UTM には リモートアクセスVPN が 標準搭載!

社外から **安全な接続** を
確立します。

 Check Point®
SOFTWARE TECHNOLOGIES LTD.



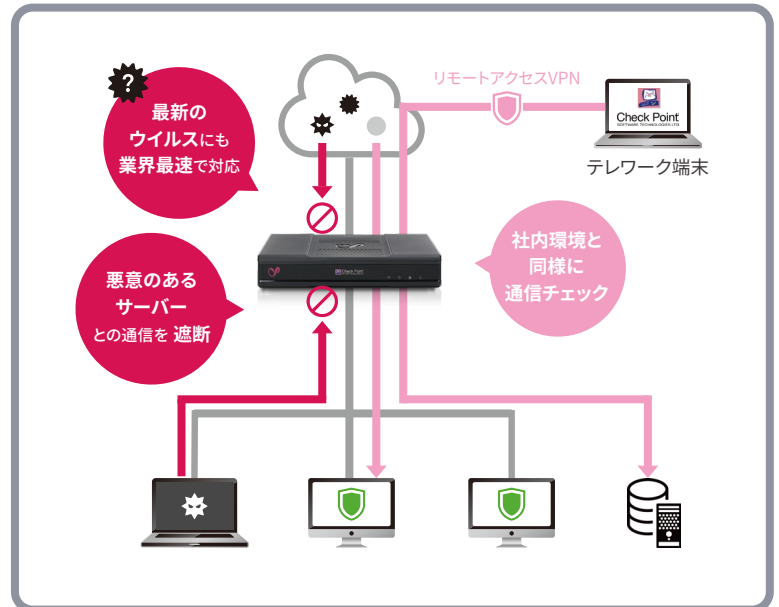
中小企業に対して最適解となるテレワーク環境を提供

解決! セキュリティ面の課題

Check Point UTM は、インターネットVPN 接続が可能なセキュリティ対策製品 UTMです。Check Point UTM に標準搭載されている「リモートアクセスVPN」機能を利用すれば、社内環境と同様に通信がチェックできるため、接続端末をインターネット上の脅威から保護します。

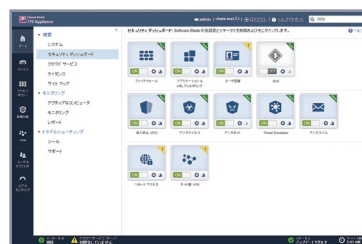
UTMとは?

UTMとは、Unified Threat Managementの略で日本語にすると「統合脅威管理」。様々な脆弱性を突いてくる脅威に対抗するためには、**複数のセキュリティ機能**が必要となります。今まで主流だったファイアウォールは通信のアドレスと種類だけで防御していましたが、通信の内部にマルウェアが仕込まれているかどうかまでチェックすることはできません。UTMは **通信の内容までチェック** するため、ファイアウォールを通過してしまう攻撃もブロック することができます。



解決! 運用面の課題

Check Point UTM は、ほとんどの設定を Web GUI から行うことが可能です。シンプルで操作性のよい Web GUI により、専任の担当者のいない中小企業様にも運用が可能です。



解決! コスト面の課題



Check Point UTM では十分な同時接続数のリモートVPNライセンスが標準で提供されています。UTM である同モデルであれば、「リモートアクセスVPN」機能以外にも各種のセキュリティ対策に対応します。リモートVPNの課題だけでなく、オフィスのゲートウェイセキュリティを1台の UTM に集約することで、高いコストパフォーマンスのもとセキュアな環境をオフィスと社外で実現することが可能です。

※ 同時接続数は、1530、1550が100ユーザー、1570、1590が200ユーザーまで標準で対応

お問い合わせはこちらから